

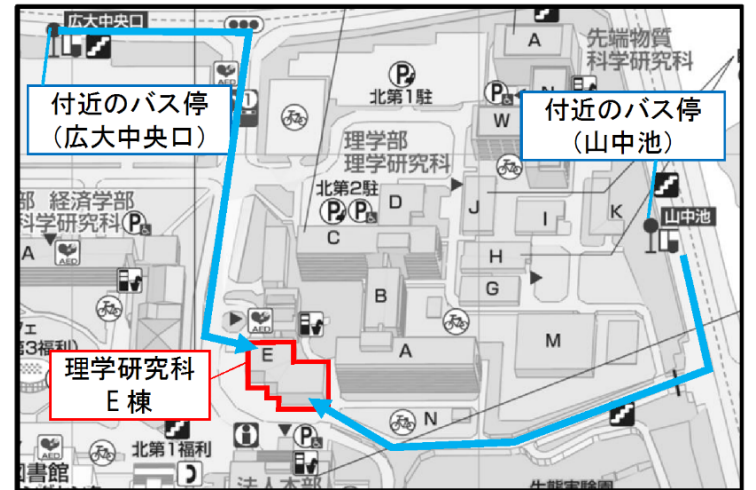
# 応用生態工学会 第23回広島大会 公開シンポジウム

## 「ここまで進んだ生態系観測技術の最前線」

【日時】令和元年9月29日(日) 13:00~17:00

【場所】広島大学東広島キャンパス  
理学研究科 E 棟 1F E102 講義室

●お問い合わせ先  
応用生態工学会事務局  
〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5  
麹町ロイヤルビル 405 号室  
TEL: 03-5216-8401 FAX: 03-5216-8520  
E-mail: 23th\_hiroshima\_secretariat@ecesj.com



### 【開催主旨】

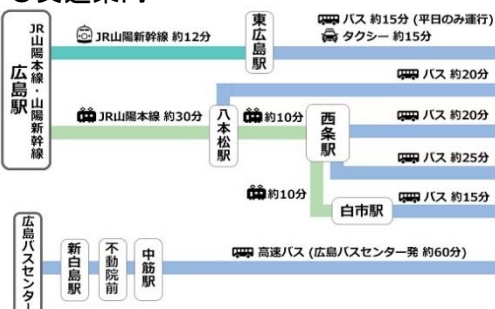
環境 DNA をはじめとする新たな観測技術が生態系評価に用いられるようになりましたが、これらの新技術の利用は、まだ一部の研究者や技術者に限られています。今後の更なる普及のためには、一般市民を含む河川に関わる多くの人々に情報共有を図る必要があります。本シンポジウムでは、これらの活用が進んだ海外からの複数の講演者も招いた講演会により国内外の先端事例を共有すると共に、パネルディスカッションを通じて新たな観測技術の今後の可能性や問題点の議論を行います。

### 【プログラム(タイトルは仮題です)】

- 13:00~13:05 挨拶・趣旨説明  
渡辺 幸三 (愛媛大学 教授、応用生態工学会国際交流委員長)
- 13:05~13:50 招待講演1 「DNA に基づく空間的・時間的な環境評価」  
Mehrdad Hajibabaei (ゲルフ大学(カナダ) 准教授)
- 13:50~14:35 招待講演2 「現場自動観測を用いた藻類ブルームの理解と予測」  
Francesco Pomati (スイス連邦水科学技術研究所 上席研究員)
- 14:35~14:55 講演1 「環境 DNA 検出・メタバーコーディングによる生物多様性評価手法」  
土居 秀幸 (兵庫県立大学 准教授)
- 14:55~15:15 講演2 「統計にはもう頼らない? 機械学習の発展から見たデータ解析の最前線」  
梁 政寛 (ベルリン自由大学(ドイツ) JSPS 海外特別研究員)
- 15:15~15:35 講演3 「先端技術を用いた川づくり」  
舟橋 弥生 (国土交通省 河川環境保全調整官)
- 15:35~15:45 <休憩>
- 15:45~17:00 パネルディスカッション

コーディネーター：渡辺 幸三、パネリスト：講演者5名

### ●交通案内



東広島キャンパス



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。